福科大通信

Fukkadai 2023 No.30

フォーカス福科大 軽音部

■部員数：70人
■活動日時：不定期（日曜を除く）
ライブを2ヶ月に1度開催。
ライブ間近は毎日練習する部員も多い。

Q 活動内容を教えてください。

日々練習は、各々の苦手に応じて先輩や上級者がアドバイスしながら上達を目指しています。音楽を通じた交流はもちろんですが、音楽以外にも、スポーツ大会などを開催して交流したりもします！

また、他大学との合同ライブ（過去：近畿大学、帝塚山大学など）を開催やシャッフルライブを定期的に開催しています。（シャッフルライブの詳細はインスタをご覧ください。）

Q 軽音部に入部する方は経験者が多いですか？

約半数がまったくの初心者です。経験者が初心者より若干少ないです。

Q 入部するにあたって、必要な経費や用意するものはありますか？

入会費などは不要です。楽器は入部当初だと、先輩から借りる学生もいます。しかし、借り物だと練習時間も限られますし、自分用として楽器を持っていると好きなタイミングで練習ができ、モチベーションも維持できるので、購入することをおすすめします。

Q 軽音部に入って良かったこと・魅力について教えてください。

部員数が多いこともあり、交友関係が広がります。また、多種多様な音楽・楽器に触れることで、知識が増え、普段楽しめる音楽の幅が広がります！さらに、演奏などを通じて自己表現ができる喜びと難しい音楽に挑戦し、成長する楽しさを体感できることが大きな魅力です！

Q 部活を通じて成長したことはありますか？

少しずつですが、人前に立つことに慣れていきました。元は人見知りの部員も部活を通じて、徐々に克服していきます。まだまだ、成長段階ですが、人をまとめる力も身についてきていると感じています。

Q 今後の講演スケジュールを教えてください。

10/28（土） 10/29（日） 学祭ライブ〈場所：関西福祉科学大学〉

12/10（日） クリスマスライブ
〈場所：Fireloop〉
〒543-0052
大阪市天王寺区大道4-10-17
新井ビル B1F

▼詳細はこちら▼

インスタ QRコード FUKKAAA_KEION

玉手山学園
建学の精神

感恩（かんおん）

大学の使命

関西福祉科学大学は、建学の精神「感恩」を心得、実践する人を育成し、豊かな未来社会を作る。
その達成に向け良質の教育活動と、活発な知的創造・研究活動を行う。

関西福祉科学大学
Kansai UNIVERSITY OF WELFARE SCIENCES

社会福祉学科 Social Welfare

「社会福祉学科」は「福祉創造学科」に！

2024年度から「社会福祉学科」は「福祉創造学科」に変わり、人々の想いに共感するimagination（想像）と新たな価値を生み出すcreation（創造）を備えた人材の育成を目指していきます。

福祉創造学科では、まちづくりに貢献するための【まちづくりコース】、医療現場などで生活支援を行うための学びを深める【医療福祉コース】、高齢者や障害者などの「いのち」と「くらし」を支えるための支援を学ぶ【高齢・障害福祉コース】、子どもが安心できる生活を実現するのための支援を学ぶ【子ども家庭福祉コース】の4コースに分かれ、専門的な人材を養成します。

なお、社会福祉学科の在学生が所属するコースについては、そのままです。

心理科学科 Psychology

『精神保健福祉士実習交流会、事例研究』

心理科学部で精神保健福祉士を目指す３年生は、精神科病院と障害者支援施設での実習後に、交流会で後輩に自身の体験を報告します。利用者（患者）との関わりの中で会話を続ける難しさ、どこまでふみ込んで質問してもよいのかと迷った経験、相手との信頼関係をつくるための丁寧な“対話”が重要と実感したこと、利用者が少しずつ心を開いてくれた安堵感等、実習場面での気づきや課題を整理し、自分の言葉で伝えます。先輩の報告に対して２年生も率直な感想や質問を返します。それぞれが自身の言葉で語る、聴く貴重な機会です。実習前後の事例研究の授業では、相談援助技術を練習します。相談支援のプロになるためには、技法と共に自分の言葉で語り、真摯に聴く姿勢も大切です。がんばれ！（木村志保）

健康科学科 Health

養護実習に向けての準備

健康科学科には、養護教諭資格に必要な“学校現場における教育実践”について学ぶ「養護実習」という科目があります。

この科目では、実際に養護実習に参加するだけでなく、実習に参加する前から、養護教諭の知識・技能と学校保健の学びをあわせて実習に臨む準備を整えていきます。

授業では、保健だより・掲示物の発表、保健指導・健康相談のロールプレーに参加し、養護教諭の仕事に対する理解を深めました。また、実習に向けての養護実習計画書を作成し、自身の課題を明確にしました。

自分自身の描く養護教諭像とはどのような姿か、学校教育における養護教諭の役割とは何かについて改めてじっくり考えることができ、実習に参加する意欲が高まっていく様子が頼もしいですね。

福祉栄養学科 Nourish

ワイン醸造が始まりました！

関西福祉科学大学が位置する柏原市はぶどうの一大産地です。

福祉栄養学科は、2021年に管理栄養士養成施設校では全国初となるワイン醸造プラントを新設しました。

今年も、大迫ゼミと安達ゼミの3・4年生の「研究演習」では、柏原産のデラウェアを使用したジュース作りとワイン醸造が始まりました。ぶどうの実を専用の機械で軸から外して、潰して濾すとジュースができあがり、このジュースに酵母を加えて発酵させワインを作ります。成分分析の後は、お楽しみの官能評価です。デラウェアのジュースとワインはほんのりピンク色をしており、学生たちは「色がきれい～」、「甘くて美味しい！」と自分たちが作ったジュースやワインに大満足でした。

オープンキャンパスでは、ワイン醸造室へ見学に行くとぶどうジュースの試飲ができ、ご参加された生徒や保護者の皆様からも「おいしい！」と好評をいただきました。

8月には学科内の全学年から希望者を募り「ぶどう・ワイン作り」のイベントが開催され、柏原産のデラウェアとマスカット・ベリーAを用いてワイン醸造やぶどうジュース作りを体験します。ワイン醸造の様子はインスタグラムにアップしていますので、ぜひご覧ください。　Instagram: @fukushieiyou

リハビリテーション学科 Rehabilitation

保健医療学部のホームページ紹介と在学生の感想

ホームページには、学部・学科や教員の紹介、動画で見る大学案内があります。高校生の学部・学科を知ってもらい、大学選びの材料になることも期待しています。今回、在学生にインタビューを行いその魅力を探りました。

在学生からは、以下の感想や意見がありました。

1. 授業風景の動画が分かりやすく、学校生活を具体的に感じる
2. 実習や就職に関する具体的な情報は有益
3. 学業や担任体制に関する情報が安心感を与える
4. 将来の進路に向けたイメージ形成に役立つ
5. 授業外の学外活動の情報が充実し、多様な経験ができることがわかる
6. オープンキャンパスにつながるサイトがあれば学生募集につながる？
7. 具体的な就職先の情報が見たい

今後これらを参考に改善を行い、有益な情報を提供していくとともに、教員の研究活動についても紹介し、学生たちの興味・関心を広げるホームページを目指していきたいと思います。

保健医療学部　作業療法学専攻学生
ホームページ閲覧後の話し合い

1年生　3年生

関西福祉科学大学
保健医療学部
リハビリテーション学科

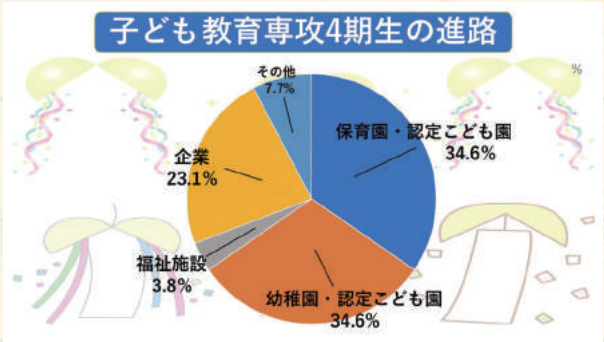
教育学科 Education

教育学科の就職状況について（幼児教育編）

教育学科・子ども教育専攻生（現在の幼児教育コース）は保育士資格や幼稚園教諭の免許を取得し、保育所・幼稚園・認定こども園などに就職する人が多いです。学部開設から7年が過ぎ、採用実績も着実に積み上げられています。

昨年度は表のとおり、卒業生の約7割が幼児教育・保育の専門職に就いています。ちなみにこの専門職を希望する学生は、全員が希望する先に就職しています。

また公立の保育所や幼稚園の採用試験（専門職の公務員試験）に合格した人もいました。



今年度はこの公立の保育所・幼稚園・認定こども園で働ける公務員試験についても力を入れて試験対策を行っており、今の4年生は来年度の採用試験にすでに3名が合格しています。秋までにもっと合格実績が上がると思います。在学生の皆さんも大学から対策講座の案内があれば積極的に参加して、将来のために勉強してください。

卒業生・在学生ズームアップ

社会福祉学科（2006年3月卒業） 和田（わだ） 照平（しょうへい）さんを取材しました。

Q1. 大学卒業から現在

関西福祉科学大学を卒業後、精神保健福祉士として精神科クリニックに4年間勤務していました。いろんな経験を重ねたいと思って、2010年に転職して現在まで総合病院で勤務しています。
卒業後も大学でお世話になった先生方とたびたび連絡したり、やり取りが続いたりしています。ありがたく、うれしいです。

Q2. 精神保健福祉士としての活動

全国的に総合病院で勤務する精神保健福祉士は少ないですが、精神科スタッフに留まらず、身体治療を担うスタッフともやり取りが多く、いろんな経験ができています。
①救命救急センターに搬送された自殺未遂者への再自殺予防のための介入、②精神病床の入院患者の担当、③精神疾患や心理社会的な困難を持つ妊産婦への支援、④身体疾患治療で入院になった認知症者やせん妄を発症した方への支援チームに参画したりしています。

Q3. 在校生の皆さんへ一言

大学で遊ぶこと、サボること、学ぶこと、全てが経験です。今後はAIが更に活躍する世の中になります。でも、ソーシャルワーカーが対象にする人や社会への支援はAIが答えを出せない分野です。とすると、みなさん自身が貴重な資源です。大学での迷い悩んだ経験や出会いは答えのない仕事に向き合う上で大切になると思っています。

教職員インタビュー

健康科学科
前田先生

Q1. 先生のご専門は何ですか？

私の専門は、組織内で起きる暴力の問題解決です。中でも、職場の同僚の就業意欲に水をかけ足を引っ張る言葉や行動に注目して、加害者が再び暴力行為を選択しないようにするために、そして、加害者から受けた暴力によって被害者が打ちのめされないようにするために、どのような支援が有効かについて研究しています。
戦争など国家間の暴力はどうすることもできないけれど、目の前のひとりひとりと向き合うことが、回りまわって、どこかの誰かのより良い人生に繋がればいいなという想いで研究を進めています。

Q2. 学生時代何に力を入れていましたか？

友人と目いっぱい遊ぶことです。特に、大学3・4年のゼミの仲間とは、夜中に1台の車に乗り込んで甲府盆地の夜景を観に出かけたり、雄大な富士山を麓から眺めながら語り合ったりしていました。ゼミは、研究に対してストイックで厳しいと有名でしたが、仲間とともに乗り越え、関わり合った日々は、今でも私の財産となっています。

Q3. 休日の過ごし方やご趣味を教えてください。

私の趣味は、読書です。ジャンルは問わず、児童向けの絵本から漫画、新書まで幅広いジャンルの本から、「今の私にはこれだ！」と直感で思ったものを購入して、読み終わったら自宅の書庫に保管しています。休日は、狭苦しい書庫の中に小さな椅子とホットコーヒーを持ち込んで、気が済むまで本のページをめくりながら過ごしています。それ以外に最近では、推し活にもはまっています。何かを好きになり、何かを応援することで、自分も元気になれます。

Q4. 学生へのメッセージをお願いします！

大学生（青年期）の時期は、たくさんの人・物・場所との「出会い」を経験してほしいと思っています。そのためには、失敗なんか恐れず、いろいろなことにチャレンジしたり大学の外にも飛び出していってください。そうした見知らぬ何かとの出会いを通して、これまで気づかなかった「新しい自分」と出会うことができます。そのときの気づきは、きっと、根底から貴方を支える一生の宝物となることでしょう。

【R5年度】外部評価委員会（7/17）を開催しました

本委員会は、大学運営に学外の客観的な視点を取り入れるために設置しており、学外有識者の5名で構成されています。大学全体の評価に加え、本学の教育活動等の取り組みについて活発に意見交換を行いました。今年度は社会福祉学科に重点を置き、教員が学生に寄り添い「のびしろを伸ばす」教育や、地域における本学の貢献について高評価をいただきました。今回の評価結果やご意見を今後の大学運営に活かせるよう検討していきます。

卒業生からのメッセージ

2023年3月に卒業した先輩が回答した「卒業時アンケート」から後輩へのメッセージ、伝えたいこと（自由記述）の一部をご紹介します。

※卒業時アンケートの集計結果は、ホームページで公開しています

4年間という大学生活を使って、多くのことに挑戦してみてほしいです
そこから学ぶことが数え切れないほどあります
#挑戦 #4年間 #数え切れない学び

自分が何をしたいのかを一、二年の間に決め、そこからそれに必要なものを考えて、目標の設定や必要な物の準備をして取り組んでやっと大学に来た意味が生まれるんだと思う
#目標の設定 #大学に来た意味

教員の方々、特にAAの先生には、実習、国家試験のことだけでなく、学生生活全般の事もサポートして頂きました
相談出来る人がいるのはとても心強かったです
#AA #相談 #サポート

やりたいことをやるのが1番だと思いますが、しっかりと勉強した証明になるので資格は取った方が良いと思います
#資格 #勉強した証明

※紙面の都合上、抜粋した文章を掲載しています

●第30号 令和5年9月 発行：関西福祉科学大学　〒582-0026　大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号
TEL 072-978-0088　URL https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp　編集：関西福祉科学大学広報誌発行委員会